



夏のやな場

うたごよみ ー 長月 ー

「短歌」

渡辺幸士選

台風も逸れほつとしてあゆ祭り打ち上げ花火
夫と見ており 赤星 文子
今年も異常気象と報じられ自然の怖さしみじ
み思う 上村やす美
連れ立ちて亡夫と行ききたる花火会今宵は屋根
の上のみを見る 上村 かず
荒れ畑の草刈る夫の回りには羽根ひるがえし
蜻蛉飛び交う 塚原 暁益
亡き友は何時も笑顔で夢に立つ吾が老いたる
を知ることも無く 内田乃武子
オカリナの優しき音色に誘われて故郷偲ぶ夏
の夕暮れ 池田キヨ子
夕暮れに今年初めて虹を見るその喜びを歌に
留むる 清田ひで子
梅雨明けて暑い日差しをエネルギーに蝉一斉
に鳴き頻りおり 吉永由紀子
道端に香り漂う酔蝶花しばし佇みフレッ
シュする 赤星 延子
トラクターの後をとことこ追う鳥の親ではな
いかと夫は思わる 緒方 明美
茗荷の子ピンク色して露ふくみ朝陽に輝りて
すつくと生ゆる 森田 房恵
淡紅のしゅうかいどうの花咲けば株分けくれ
し亡き友偲ぶ 塚本 俊子
語られることも無くなり草覆う墓碑に記さる
る若き兵の名 渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士選

「期待」

期待した密かな願い夢となる 本田長久子
期待した夕立回り道して過ぎる 古閑チヨミ
サマージャンボ今年も夢を買ってみる 林 雅之

「どきどき」

子の帰郷胸どきどきと待ち疲れ 布田 愛子
二人だけ残る就職面接日 清川みどり
どきどきの記憶消えない面接日 中川ひろし
どきどきがびたりと止んだ異状無し 渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美選

辛いねエ 親の期待の太すぎる 広田みどり
辛いねエ 咳のひどなる休診日 下山 千恵
辛いねエ 亡き母偲ぶ一周忌 志垣 光
辛いねエ 救えなかつた子の命 佐藤 葵
辛いねエ 野菜の出来ん雨続き 北畑 公美
辛いねエ 別れちゅうとはこきやんとか木村 陽菜
辛いねエ 齢と言えども夏ア暑か 布田かんな
辛いねエ 出勤せなん二日酔い 平井やよい
辛いねエ エラーで逃す甲子園 長原 産賀
辛いねエ 思てもおらん告知され 佐野しよう
辛いねエ 孫も抱かれん松葉杖 光永 六
辛いねエ 男寅さん旅に出る 井元あざみ
辛いねエ 継母で白い眼で見られ 北川 直美

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎096・234・2447 (内線321)

ひとの動き (敬称略)

7月11日(土)～8月10日(月)

birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
上揚田	後藤 玲音	男	貴史
田口	興梠 結菜	女	純平
緑町	中村 広大	男	宗広
豊内	北里 篤與	男	雄秀
緑町	宇土陽 佑大	男	恵佑
下横田	井元 達喜	男	亮
下横田	岡村 塔子	女	雄輝

marriage ご結婚おめでとう

	住所	氏名
夫	菊陽町	士野 竜典
妻	白旗	本田 早桃美
夫	熊本市	米野 宏泰
妻	船津	日隈 由依
夫	嘉島町	廣瀬 孝
妻	横田	田上 千晶
夫	美里町	片山 聖也
妻	津志田	宮内 祥子

condolence お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
横田	浦本 淳子	83	敬史
早川	木村 隆光	83	たち子
田口	村上ツタエ	91	文也
芝原	藤崎 典雄	74	美知
豊内	坂口 静夫	91	静夫
豊内	赤星 達夫	102	達夫
坂谷	田上 嶋	91	嶋
豊内	伊豆野マス子	75	久
上早川	溜淵不美子	104	不美子
芝原	藤田ツユ子	91	昭子
仁田子	西田 道治	91	正剛

data 甲佐町の人口・世帯数		
項目	数	増減
男	5,288	0
女	5,910	△10
計	11,198	△10
世帯数	4,309	△2

平成27年7月31日現在

こうさの野菜で作ってみよう!



レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん（北原区）

ゴーヤのしょうゆ漬け

3 存知ですか?

ゴーヤは、女性の味方と言っていいほどビタミンCを豊富に含んでいます。水や熱に弱いビタミンCですが、ゴーヤに含まれるビタミンCは加熱しても壊れにくいので安心です。

ゴーヤの独特の苦味こそが、胃腸の粘膜を守り食用増進に役立ち気持ちをシャキッとさせる効果もあるそうですよ。



材料（4人分）

ゴーヤ	2本
塩	小さじ1
しょうゆ	2分の1カップ
酒	2分の1カップ
水	3分の1カップ
砂糖	大さじ1.5
ゴマ油	大さじ1
唐辛子	適量

作り方

- ①ゴーヤは縦に切り、スプーンで中のワタを取りましょう。
- ②5ミリの幅に切りそろえた①に塩を振り、しんなりしたら軽く絞り水気を切ります。
- ③鍋にしょうゆ、酒、水を入れてひと煮立ちしたら火を止めて、最後に砂糖を加え溶かしましょう。
- ④砂糖が溶けたら、③にゴマ油と唐辛子を加えよく混ぜます。
- ⑤容器に②を入れ、④を全体に回しかけて1時間くらい置けば出来上がりです。

編集後記

長いようで短く感じる夏休みが終わり、小学生が元気に登校する姿を久しぶりに見掛けました。真っ黒に日焼けしたその姿に、今年も夏の思い出がたくさんできたんだと感じます。

8月4日(火)～5日(水)

川平キャンパスでの野外キャンプ「あつまれ子どもたち」では、子どもたちが元気いっぱい自然に親しみ、テントで1泊2日の集団生活を体験しました。

参加した子どもたちは、新しい友だちと出会い、一緒に飯ごうでの炊飯を体験したり自然の中でネイチャーゲームをしたりして楽しみました。普段の生活と違うことをしたり初めての経験をしたことは、いつまでも心に残り自分の財産になります。子どもたちには、この出会いと体験を大切に、これからたくさん思い出づくりをしてほしいなと感じました。(み)